

### 3 平成 26 年度学校目標

| 学校目標   | 取 り 組 み の 内 容   |   |
|--|---|---|
|  | 具 体 的 な 手 立 て   | 評 価 の 観 点   |
| <b>1&lt;自立と社会参加に向けた教育課程の編成&gt;</b><br>(1)「自立と社会参加」をめざす教育課程の編成を行い、生命や他者への思いやりの大切さを重視した学習指導及び生活指導を推進する。<br>(2)授業改善に向けた校内研究、校内研修を推進し、指導力及びチーム力の向上を図る。 | (1)①新学習指導要領に基づいた教育課程の検証と改善を行う。<br>②日常の実践を「いのちを尊重する心をはぐくむ」という視点で捉えなおし、充実を図る。<br>(2)①授業検討や授業参観の体制を整備し、保護者や地域の幼・保・小・中・高の教員等に積極的に授業を公開する。<br>②校内外の人材を積極的かつ効果的に活用し、研究及び研修を充実させる。 | (1)<br>①教育課程を検証し、改善に取り組むことができたか。<br>②いのちを尊重する心をはぐくむための実践に取り組むことできたか。<br>(2)<br>①積極的に授業を公開することができたか。また、それらの取り組みを授業改善につなげることができたか。<br>②校内外の人材を活用して研究・研修を充実させ、指導力・チーム力の向上につなげることができたか。 |
| <b>2&lt;児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな教育支援&gt;</b><br>(1)児童・生徒一人ひとりの実態やニーズに応じた支援を充実させる。  | (1)①個別教育計画作成や授業実践・評価におけるチーム力を専門職と連携を図って強化する。<br>②教育相談及びケース会を充実させる。<br>③児童・生徒及び保護者が必要とする支援について、関係機関と柔軟に連携し対応する。  | (1)<br>①専門職との連携で、個別教育計画の作成やチーム力の強化ができたか。<br>②取り扱い件数などの等量的なものだけでなく、質的なものも向上したか。<br>③必要に応じて、関係機関と連携が取れたか  |
| <b>3&lt;小・中・高等部を通じたキャリア教育の推進&gt;</b><br>(1)児童・生徒の発達状況に即した、生活スキルや社会的スキルの獲得に重点を置いた指導を推進する。<br>(2)児童・生徒のキャリア発達を支援するため、入学から卒業までのキャリア教育の組織的な体系化を図る。     | (1)①保護者や専門職、進路専任などと情報を共有し、関係者が協働して進路指導を行う。<br>②地域、卒業生、ボランティア等の外部の力をキャリア教育に効果的に活かす。<br>(2)①小学部から高等部までの一貫したキャリア教育の指導体制を構築する。  | (1)<br>①様々な関係者が協働して、進路指導を行うことができたか。<br>②外部の力を効果的に活用し、児童生徒のキャリア発達を支援することができたか。<br>(2)<br>①一貫した指導体制・教育課程を構築することができたか。   |
| <b>4&lt;地域を支援するセンター的機能の充実&gt;</b><br>(1)支援の必要な児童・生徒のために、地域の学校・施設等との相互の学び合いを充実させる。<br>(2)インクルーシブ教育システム構築に向け、地域への特別支援教育の理解啓発を図る。                     | (1)①市町教育委員会やその他関係機関と連携し、地域の学校・施設等との相互の支援体制を充実させる。<br>(2)①ホームページ、学校だより等を効果的に活用し、本校の取組みに関する広報活動を充実させる。<br>②交流及び共同学習や、地域との連携活動の内容を充実させる。                                       | (1)<br>①関係諸機関と連携し、相互の教育力向上につなげることができたか。支援の必要な児童生徒等の課題解決に役割を果たしたか。<br>(2)<br>①本校の教育活動、特別支援教育に関する理解が図れたか。<br>②地域連携活動の内容を深められたか。   |
| <b>5&lt;創意工夫と協働による信頼に根ざした学校づくりの推進&gt;</b><br>(1)児童・生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。<br>(2)不祥事防止の徹底を図る。   | (1)①各種マニュアルに基づいた実効性のある訓練・研修や、保護者と連携した安全指導を行う。<br>②学校の教育活動全体を通して防災教育を推進する。<br>(2)①情報管理、著作権保護、適正な会計処理を徹底する。<br>②思いやりや助け合いの心と、コミュニケーションを大切にした職場の環境づくりを行う。                      | (1)<br>①実効性のある訓練・研修等を行うことができたか。<br>②学校の教育活動全体を通して防災教育を推進できたか。<br>(2)<br>①適切な会計処理や校務処理を行うことができたか。<br>②質の高い同僚性を発揮して、不祥事や事故のない職場づくりを実現できたか。  |

